

マスクを外して発言した後の消毒について

- ・マスクを外して発言した場合は、発言終了後、自席に戻る前に、発言者自身で、マイク及び机上の消毒を行う。
- ・フェイスシールドまたはマウスシールドを着用していても、マスクを外して発言した場合は、発言者自身で、マイク及び机上の消毒を行う。
- ・対面方式でマスクを外して発言する場合、待機席においてはマスクを着用する。
- ・マスクをしたまま発言した場合は、前定例会・臨時会と同様に、マイク及び机上の消毒は行わない。

◎消毒の実施方法

1. あらかじめ、事務局において、発言場所（3か所）の脇または机の下などの中継に映り込まない場所に、「スプレー式消毒液」及び「キッチンペーパー」、並びに、「ゴミ箱」を設置しておく。
2. マスクを外して発言した者は、発言終了後、自席に戻る前に、まずマスクをして、机上に備え付けの手指消毒液で手指を消毒して、スプレー式消毒液及びキッチンペーパーを取り出し、キッチンペーパーに消毒液を含ませて、マイク及び机上を拭く。
3. 拭く場所（範囲）は、次の登壇者が手で触れる可能性がある部分とする。具体的には、マイクについては先端部分及び柄の部分とし、机上については概ね写真（別添）で示す範囲とする。
なお、アクリル板等手で触れる可能性が少ない場所については、消毒を行わない。
4. 拭く順番は、まず、マイクの上から下へ、続いて机上の奥から手前（場所によっては左から右など）へ拭いていき、往復拭きはせず、丁寧に一方向に拭いていく。
5. 拭き終えたキッチンペーパーをゴミ箱に入れ、最後に机上に備え付けの手指消毒液で手指を消毒する。

具体的な消毒の手順

- (1)マスクを着用し、手指を消毒する。
- (2)スプレー式消毒液及びキッチンペーパーを取り出す。
- (3)キッチンペーパーを折りたたみ（4つ折り）、消毒液を吹きつける（5回程度）。
以降、キッチンペーパーが乾いてきたと感じたら、追加で消毒液を吹きつける。
- (4)マイクの先端から根元にかけて拭く。（2本とも）【写真①】
- (5)原稿を置く台の上面を拭き、その後、原稿を置く台の側面三方（右、手前、左）を拭く。【写真②③】
- (6)机上の残りの部分を拭く。【写真④】
- (7)机の縁（手前部分）を拭く。【写真⑤】
- (8)拭き終えたキッチンペーパーをゴミ箱に入れ、手指を消毒する。